

宿泊税事業者個別訪問 主な意見 (項目別)

事業者名	意見等	市回答
1. 実施すべき観光事業について		
①②③	・観光客の数値自体が実態と乖離しているのではないかと。また、投資が天橋立（文珠・府中エリア）に集中しすぎている。上宮津などの周辺地域にはバスも屋根付きの待合所もなく、パンフレットすら十分に届いていない。この状態で一律に徴収するのは納得がいかない。 ・我々のためのインフラ整備等ができると確約できるのであれば賛成である。賛成かどうかの判断は、使い道による。 ・やりたいことを申請できる枠をつくってほしい。	・集中投資については経営的視点から避けられない面もありますが、周辺地域の魅力発信が不足している点は認識している。宿泊税という財源ができれば、公共交通の充実や地域プロモーションにも予算を割くことが可能になる。 ・検討委員会でも使途を検討する組織が必要との意見が出ている。
⑤	・地域に還元されるのかどうか。トイレを綺麗にしてほしい。お客様に心地よい環境をつくるためにもお金は必要である。旅行に行った時にトイレが汚いのはお金がないのかなと思ってしまう。	・どんなことに使っていくか整理している。それぞれのエリアでどんなことが必要か聞かせてもらう。それぞれの地域で望まれていることを声を上げてほしい。天橋立に来て楽しんでいただくとともに、プラスの魅力をつくって発信していきたい。
⑥	・使途について、天橋立の向こう側（文珠側）で行われているという認識。こちらでも何かできればよい。	（ご意見として伺いました）
⑦	・使途をきっちりと説明すべき。 ・公共交通機関がない。今冬の大雪のためキャンセルもあった。タクシーも高い。 ・海外ではトロリーバスを運行し、安価で周遊させているところもある。由良ヶ岳や世屋地区にガイド付きで行けたら最高。 ・観光協会にパンフを置いてほしいと出向いたら置けないとのこと。コンテンツも少ない。十分な魅力が発信できていないのでは。観光協会に補助しているにも関わらず全体的な観光振興に係る取組が出来ていない。 ・湾クラブに係る予算も何に使っているのか全く分からない。どのような効果があるのかも不明。湾クラブのHPも随分更新されていない。 ・海の京都DMOも何をやっているのか。投資した費用に対してどれだけ効果があったのか説明もない。これに宿泊税でさらに支援するのか。 ・災害時での観光客対策が不十分。 ・宿泊税を観光協会の人件費に充てたいとのこと。おかしな話だ。	・路線バス以外の現在の地域交通は制度上の仕組みによって大きな制約があるのも事実。タクシー料金も高いが、このタクシーを観光客向けに充実・改善していく経費等も今後はこの宿泊税で対応できるかもしれない。幹線バスについても同様。 ・天橋立の魅力向上、世界遺産登録に連動するものとして事業に取り組んでいる。 ・各種団体への支援については、しっかりと見える化、活きたお金にしていく必要がある。 ・今月防災に係る事業を予定していたが降雪のため中止となった。課題意識は持っている。 ・魅力ある観光地にしていくには観光協会の充実が必要である。
⑧	・どのように使われるかという点は関心がある。来られた方にいかに満足してもらえるかを考えた時にまだまだ事業者として頑張ってもらいたいと思う。観光を通じて宮津を深く知ってもらうことを意識している。 ・移動手段などのインフラを含め、飲食店等の魅力が上げれば、観光地だからこそ市民も楽しめたり良かったと感じられることがある。そういった事に投資して魅力をしっかりと創りだしてほしい。	（ご意見として伺いました）
⑨	・天橋立駅にエレベーターはあるが、数人しか利用できないため、（宿泊税を活用して）エスカレーターを設置すべきではないかと。観光客にも市民にも利便性があり、市民の生活向上にもつながる。	（ご意見として伺いました）

事業者名	意見等	市回答
⑪	・昔の宮津は芸子がいったり、宮津節が聞こえてきたり、にぎわいある町であった。宮津踊りや宮津節による魅力づくりをしてはどうか。商店街で宮津節がかかっていたこともあるが、今はそうしたことはない。復活すべきである。現在の宮津踊りは、指導者が昔の格式にこだわりすぎており、もっとオープンにしていかにに問題がある。学校とかでも宮津踊りをどんどん取り入れるべき。	(ご意見として伺いました)
⑬	・海の活用以外にも、ホテルがいるため、観光資源としてはどうか。	(ご意見として伺いました)
⑭	・やるべき取組みが決まっていないのに、導入について判断できない。先に、やるべき取組みを示すべきではないか。 ・心にもやもやがあるのは、市全体で宿泊税を徴収しておいて、使い道については、文珠、府中を中心に使われる懸念があるため。説明にあったように、天橋立以外の周辺地域に恩恵が実感できるような具体的な取組みを示してもらわないと納得がいけない。むしろ、橋立以外から取組を進めてもらいたい。チーム宮津でやっていくなら、お金を集めて使う価値もある。 ・海業をやるには、宿泊が必要であり、一定規模の宿泊施設も必要となるが、養老には宿が多くない。受入態勢の強化も必要である。 ・来訪者が橋立を目指す契機は何か。 ・先行導入している自治体で、成功しているところなどモデルとしているところはあるか。 ・丹海バスの宮津方面の最終が18時台で早すぎる。もう少し遅い便を増便してもらうことが、宿泊税の導入の前提である。他にもタクシーの特別料金の廃止や伊根タクのような仕組みもやってほしい。 ・取組一覧の資料があるが、どういうものか。	・議会の議決を得て決定されるという意味で、決定されたものでないということ。そもそも、取組みの決め方についても、市だけで決めるのか、事業者と市で決めるのか、決め方自体も決定していない。検討委員会でも、決定手段については議論されている。 ・由良ではオリーブ、上宮津では杉や旧街道、養老では海業というように、地域の魅力を高める仕掛けをしているが、課題が多い。 ・そうした地域内での連携も重要であるため、地域内で話し合う必要がある。 ・国の高付加価値化事業を活用し、まちなみ景観を整えた。SNSでの発信も盛んになっており、個人旅行はこれが鍵となっている。 ・京都市などは宿泊税を使い、地下鉄の自動開閉柵の整備を行い、訪問者にも市民にもメリットがある施策としているが、宮津市には地下鉄がなく、地域性が異なるため丸々モデルとできるものではない。宿泊税を導入しているところでは、京都市の地下鉄のように成功している事例こそあり、宿泊税の導入によって、宿泊者が減るなどのデメリットは聞いたことがない。 ・今時点で即答は無理なので、持ち帰り研究する。 ・取組みのイメージを持ってもらうため、例として示したもので、決定されたものではない。
⑮	・まず現状をどう把握されて何に使うのかが納得できないと話が進まない。 ・交通混雑と言っても天橋立～伊根間に限った話で、市全体の問題ではない。 ・飲食施設を増やしていくことや移動手段の確保が必要 ・宮津市観光の現状は、農業体験、みそづくり、染め物など体験型観光は存在するが、マッチングが困難。 ・夜の観光を推進するとのことだが、夜にガラガラしたイメージで集客するのはどうか。 ・外湾への航路を増やせばよいので、丹海と話し合うべし。また、移動支援もしてほしい。 ・天橋立を案内する仕組みも必要である。	・人口減少が進む中で受入体制が課題 ・混雑はその通りだが、周辺はバスも廃止されているので移動手段の確保は深刻な課題と認識
⑰	・新しい観光施策を行うために財源が必要というロジックには納得いかない。 ・情報発信の強化(HPやSNS発信)など理解できる施策もあるが、既存施策に無駄と思うものも多い。 ・新しい財源を獲得してから事業を行うのではなく、既存事業との組み換えをまずは検討すべきである。 ・観光DXやガストロノミー事業など事業費の大きいものが特に無駄だと感じる。 ・今はAIの時代。従前の宣伝手段にお金を使うべきではない。	(ご意見として伺いました)

事業者名	意見等	市回答
⑮	・事業者のメリットは、観光での取組みで恩恵を受けるということか。夏場は海があるが、冬場の観光を頑張してほしい。蟹以外なく雪でのキャンセルもある。年間を通じて来ていただける魅力がないと。インバウンドでは中国人は減って、ヨーロッパからは来れていない。 ・要望としては、バス・タクシーの充実をお願いしたい。	・アメリカからは徐々に増えている。中国の購買力のある人を引っ張ってこないといけない。
⑰	・使い道が重要である。やってほしいことは事業者によりバラバラ。 ・タクシーなどの「交通」と「夜の賑わいの創出」の２点をお願いしたい。夜に食事に行くところがなく、その帰りの交通手段がない。 ・先進地で明らかに効果があったことに宿泊税を使ってほしい。	・最終的には市が使い道を決定する。観光団体等の意見を伺う等、どのように決めるかは未決定である。
⑳	・使い道について効果的な事業（ユーチューバーによるSNSでの発信）に使うこと。（市はコンサルを呼んできたり無駄なことにお金を使うので、）民間主体の事業を補助金で支援すること。 ・「ハコモノやプロモーション」の否定: 役所主導の箱物建設や、効果の不明瞭な広告、中抜きが疑われる事業に税金を使われることは断じて容認できない。 ・直接支援の欠如: 物価高騰やボイラー修繕、人件費上昇など、今まさに潰れそうな宿を救う「直接的な補助」への充当を強く求める。 ・「天橋立・伊根」という強力な既存コンテンツで集客は安定しており、これ以上の無理な拡大や世界遺産化、イベント乱発は、地域の維持（現状維持）に寄与しない。現状でも7～8割の稼働率であり、客室が6室と限られるので、集客が増えてもメリットがない。 ・行政が主導する「机上の空論」よりも、民間の努力を阻害しない、しがらみのないビジネス視点での施策を優先すべき。	（ご意見として伺いました）
㉓	・徴収する以上は、事業者として現実に困っている『人手・交通・飲食』の解決に直結させ、宮津の価値を底上げする投資をしてほしい。 ・ベッドメイキング等の清掃スタッフが圧倒的に足りず、施設を増やしたくても運営が回らない。外国人材の育成・確保への支援が必要。ネパール人を入れている施設もあると聞いている。 ・外国人客が激増しているが、飲食店が足りず、かつ言語の壁で入店を断るケースも多い。食のレベル向上以前に、受入キャパシティの拡充が急務。旅行者からは「食べるところがない」とよく言われる。特に新浜エリアについて、飲食店が足りないので飲食店が増えてほしいが、準防火地域であり建物がくっついているため、適法な改修ができない。適法な改修するには費用がかかるので行政の支援が必要と考えている。 ・キャリーケースを引いての移動（特に冬場）が旅行者の負担になっているのでは。カンボジアのアンコールワットでは多言語対応の通訳ガイドがある。本市においても「公式の通訳付きガイド事業」や、二次交通（ライドシェア等）の整備が収益に直結する。 ・採産性の低いハコモノ（公的施設）を作るのではなく、民間が手を出せない「新浜エリア」等の歴史的建物の改修補助や、街全体の景観整備に予算を投じるべき。 ・市では様々な使途について検討されているが、2～3個に絞って重点的に投資すべき。 ・民間任せの街づくりは限界。税金を使うからには、50年・100年後の宮津の存続を見据え、民間が投資しやすい土壌を行政が作ってほしい。	（ご意見として伺いました）

事業者名	意見等	市回答
②④	・使い道については、交通インフラ、道の駅のコンテンツ強化、デジタル情報の整備など、「宿泊者が恩恵を感じられる具体的な還元策」を求める。 ・ただ税金を取るのではなく、宿泊客が不便に感じている部分の解消、宿泊客の満足度に直結する改善をしてほしい。 ・特に文珠・府中方面の意見として、夜間の飲食店から宿へ戻るタクシーやバスが絶望的に不足しているという意見をよく聞く。また、天橋立駅からの特急列車の到着時間とバスの接続の悪さも解消してほしいという意見も多い。 ・飲食店のリアルタイム情報、「今日空いているか」「何時までか」が分かるデジタルマップがあれば、宿も案内しやすく、お客様の満足度も上がる。 ・インパウンド等のキャリーケース大型化に対応したロッカーの整備や、駅・土産物店での預かり体制を強化してほしい。 ・泉源維持費が高騰している温泉の管理・メンテナンスに対する公的支援があればありがたい。特に修繕費用が莫大。 ・道の駅の特徴が乏しく何をするとところかが明確でない。例えば、あわら温泉の様な足湯を作るのが良いのではないか。大きな箱モノは必要ではなく、日差し対策等の簡易な足湯でOK。その他、夜のライトアップ、若者がチャレンジできる屋台村（夜市）のような仕掛けで、夜の散歩を楽しめる空間作り。	(ご意見として伺いました)
②⑤	・せっかく宿泊税を集めたのに効果がよく分からない形だけの事業になったり、予算を消化するだけになることを強く懸念している。 ・税金を取るからには、事業者や市民が変わったと実感できる、使い方をしてほしい。 ・体験型コンテンツが不足していると感じている。単なるプロモーションではなく、宿泊客が楽しめる体験の造成にも予算を使ってほしい。 ・栗田駅から歩いてこられるお客さんもおられるため、交通の便が良くなるとありがたい。 ・税を導入する以上、「現場の切実な声」に耳を傾ける姿勢を求める。	(ご意見として伺いました)
②⑥	・集めた税金が本当に由良地域の観光や、自分たちの商売にメリットとして跳ね返ってくるのか。由良へも波及するような使い道にしてほしい。もっと細部まで目を行き届かせた施策を要望する。	(ご意見として伺いました)
②⑦	・新たな財源で新たな事業を実施するより、まずは「既存事業の見直し」をするべき。市で新たなイベントをするのはあまり望ましくなく、長期で腰を据えてできる方策を考えてほしい。新たな財源（増税）を求める前に、まずは現在行っている事業の精査、コスト削減、不要な事業の廃止を徹底すべき。民間事業者であれば、まずは経費の見直しから着手するのが常識である。 ・伊根・天橋立間の連携強化をすれば客数増加が見込まれる。	(ご意見として伺いました)
②⑧	・使い道については、具体的な内容は思いつかないが、宿泊客が増える取組、各種体験が出来ることが増える取組、お金を宮津市に落としてもらえるような取組に使ってほしい。	(ご意見として伺いました)
②⑨	・使い道については、タクシーの増便やライドシェアの導入、海を活用した参加型の体験（インパウンド向け）、船の周遊・クルーズなどがあれば。	(ご意見として伺いました)

事業者名	意見等	市回答
③⑩	・フランスなどヨーロッパからのお客様が増えてきた。ヨーロッパ系のインバウンドに対して何か考えているか。 ・お客様を引っ張ってくることについてはどうか。 ・昨年度、丹海が一時期観光特急バスを運行したが、定期的にあるとありがたい。宿泊税で丹海への補助は可能か。 ・リピーターのお客様に天橋立以外どこがあるのか尋ねられる。知恩寺などで普段公開していないものを見ることができたらありがたい。 ・一昨年度の多言語解説のデジタルコンテンツ（文化庁事業）を充実し、使い勝手のよいものにしてほしい。 ・フリーW i - F i が使えると助かる。	・多言語対応の充実を考えている。 ・湾クラブなどを通じてPRしている。欧米は個人旅行が多く、海の京都DMOとタッグを組んで情報発信の仕方を工夫している。アメリカを筆頭に来ていただいている。 ・交通施策を充実することは可能である。
③⑫	・税の使い道については、税を払う側（宿側）が納得するようなものにしてほしい。 ・大規模ホテルは営業上、地元産の食材を使いにくいが、当店は100%地元丹後産の魚や農産物を使い、独自のサービスでリピーターを含めお客様に提供している。有名シェフを呼ぶようなメニュー開発よりも、市が「宮津の地物食材を〇%使っている」という具体的な数字でランク付けや認定を行い、「海の京都料理」として全面的にプロモーションするなど、物流やマッチングの仕組みで頑張っている店を応援してほしい。観光に来た人が、宮津市に来た＝「海の京都料理」（地元産の魚料理）を食べれるというイメージがつくような取組をしてほしい。食材を限定するとやりにくくなるので、地元の魚というおおくりで良いのではと考える。 ・形だけの魅力向上ではなく、本当に地元に戻元される地産地消のブランディングや、行政側の覚悟を持った協力を求める。	（ご意見として伺いました）

事業者名	意見等	市回答
2. 負担のあり方について		
⑤	・当施設のお客様で、入湯税もそうであるが宿泊税について文句を言われる方はいない。	(ご意見として伺いました)
⑥	・宿泊税でお客が減るとは思わない。 ・宿泊税に対する全体的な反応は渋いか。 ・何年後から導入なのか	・安い宿は負担感がある。 ・未定。結論がでても2年程はかかる見込み
⑧	・低額の宿泊料金を設定されている宿泊施設は、200円でも上乗せされると影響があるという声は聞く。人に会いに来ることや大学生が地域活動のために泊まるなど、観光に訪れる人以外も宿泊税の対象にするのかなどの意見もある。	(ご意見として伺いました)
⑨	・宿泊税を導入したとしても、負担感は感じないと思う。よって、宿泊地の選択の妨げにならない。 ・何にしても、新しいものを取り入れるときは、反対する者がいて、その声が大きく聞こえる。しかし、後になって効果が実感できるものであるから、今は抵抗があるが早期に導入すべき。 ・今後、コロナや災害などにより同様の状況が発生する可能性もあることから、その備えとして基金は必ず設置すべきで、そうした事態に対応するためにも、早期の導入が望まれる。	(ご意見として伺いました)
⑪	・宿泊される方は、スーパーで安価な食料や飲み物を購入し宿で食べるので、ごみの排出が多い。宿泊税の導入は当然のこと。 ・外国人は宿泊税については気にしないと思うが、日本人は少しでも安いところにこだわるので気にするかもしれない。	(ご意見として伺いました)
⑫	・宮津もこのままではダメで、変えていかなければならないという認識であるので、宿泊税の導入は仕方がない。 ・家族で利用の場合だと、人数分宿泊税がかかるので、その影響がどの程度でるのか心配。(宿泊施設として選択されないかも)	(ご意見として伺いました)
⑬	・宿泊税の話は理解したが、手間が増えるので、導入には反対。	(ご意見として伺いました)
⑭	・遊覧船(汽船)への乗船に課税してはどうか。	・汽船は航路を有する定期便であり、市民利用もあるかと思うので適当でない。それに乗員数的にも財源確保が困難と思われる。
⑮	・宿泊税導入ありきで進めている印象。「本当にやるべきことにこれだけ必要だから導入する」などみんなが納得する材料が必要。	(ご意見として伺いました)
⑯	・説明会にも参加した。ある程度、宿泊税導入は決まっている方向性だと認識している。魅力的なまちになるような使い方になるのであれば問題ないと思っている。	・まだ、決定しているわけではないが、現時点では最有力の方策である。
⑰	・観光客の増加に伴い、行政負担が増加すること。負担増部分を市民ではなく観光客に負担を求めることは一定理解。 ・観光客に負担を求める手法として「宿泊税」を選択することには反対。理由としては大きく2点 ①観光客に負担を求めるのであれば、観光客の中でも割合の少ない宿泊客から徴収することには納得いかない。 ②小規模事業者から大規模事業者まで一律の負担とすることは、小規模事業者からすると負担感が大きく公平ではない。 ・京都市や東京都はオーバーツーリズム対策として導入。観光客抑制施策として宿泊税を導入している。	(ご意見として伺いました)

宿泊税事業者個別訪問 主な意見 (項目別)

事業者名	意見等	市回答
⑮	・宿泊税は実施するのか。	・委員会では導入するべし。昨年開催した事業者説明会で反発があり、委員会からも丁寧に説明をして回るようにということで、徴取したご意見を委員会に報告する。
⑲	・宿泊税を導入するからといって宿泊業を廃業するということは聞いたことがない。 ・無いに越したことはないが、導入となれば協力していくしかない。	(ご意見として伺いました)
⑳	・宿泊税だけでなく、駐車場、飲食、土産物購入などにも課税し、オール宮津で取り組むべき。 ・宿泊施設だけ徴収するのであれば、不公平である。 ・オール宮津で取り組むとなれば、「宮津に行けばあらゆる機会に税金がとられる」という印象を持たれるというデメリットもあるが、少ない負担で幅広く徴収の方が税収も稼げる。	・訪問者が当地域で行政サービスを受けることから、訪問者に負担をいただくことを前提としており、駐車場、飲食、土産物購入などは市民利用もあり、土産物に至っては、土産物と日用品の区別が極めて困難なこともあり、ふさわしくないとされている。ご指摘されたように風評被害で訪問者が減少する懸念もある。
㉔	・入湯税に加え宿泊税となると客が来てくれるか、逃げてしまうのではないかと懸念がある。 ・京都市の次はなぜ宮津市なのか。宮津市は切羽詰まっているのか。京都府全体でやるべきではないか。	・今宿泊税を導入しているところで、宿泊客が減ったということは聞いていない。 ・訪問者の増加に伴うごみ処理量の増加等を市民が負担するのは不満が出るので、訪問者にご負担いただくもの。近年宿泊税導入団体が増えており、導入が早ければ早いほど観光地としてメリットがある。京都府は考えていない。京丹後市は検討の動きあり。
㉙	・天橋立の入場税(文珠側・府中側で)をとるのが良いと思う。(地元民の見極めが難しいが)ビューランド、傘松公園でも入場税を取るのも良いのではないかと考える。	・過去からそういった議論、意見があるが、天橋立は京都府所管の都市公園であり、府道も存在する。ビューランド・傘松公園も山から陸続きなのでどこからでも入って来ることができること、来訪者と市民の見極めが難しいこと等で難しいと考える。
㉿	・観光ではなく、仕事での長期滞在の方から宿泊税をいただくのは心苦しい。	・観光のみならず、ごみ、公共交通などの行政サービスも受けておられるので、宿泊税をご負担いただくことになる。
㊱	・宿泊税を取ることに反対ではないが、観光振興の恩恵は交通・土産・飲食・一次産業など幅広く及ぶため、取るなら徴取しやすい宿泊客以外の日帰り客からも(たとえばビューランド、傘松公園、飲食店など)まんべんなく皆から徴収してほしい。 ・以前の宿泊税説明会において、小規模な民宿は女性が1人で何役もこなし、行政職員よりはるかに少ない収入で24時間近く働いている。これ以上の事務負担(徴収・納付の手間)や金銭的負担が増えれば店を辞めるという声もあった。 ・島根県海士町の職員が給与をカットして冷凍設備を導入し町を再生させた話のように、行政側も身を切る改革や熱意、前向きな姿勢を見せるべき。 ・日帰り客からは税が徴取しにくいという説明だが、目先の課題に対する言い訳ばかりではなく「できない理由」を並べるのではなく、「どうすれば実現できるか」を考えてほしい。	・日帰り客からの徴取について、市としても、そういった観点から検討も行い、総務省にも相談をしたが困難な状況ため、ご理解いただきたい。

事業者名	意見等	市回答
3. 課税要件等について		
①②③	・ Airbnb等、ネット予約・決済が主流の宿では、現地で200円だけを現金で受け取るのは非常に手間がかかり、顧客満足度を下げかねない。 ・ 先に宮津・文珠から始めるのはどうか。	・ どの自治体でも行っていることであるが、観光の強み（本市は天橋立）を前面に押し出し、注目してもらうことで、市内各地域の来訪や宿泊に繋げることを考えている。その効果は市内全域に波及するものであることから、市内全域での導入についてご理解いただきたい。
⑤	・ 入湯税は15歳未満は課税されない。宿泊税も入湯税に合わせるなら分かりやすい。	（ご意見として伺いました）
⑥	・ 修学旅行は課税免除しないのか。	・ 修学旅行は少ないだろうとの判断
⑧	・ 仮に宿泊税を徴収するとなれば、どのような料金表示（徴収）をして収めることになるのか。自主申告になるのか。	・ 現状の宿泊料金に宿泊税分をオンして徴収してもらうことになる。人数等を含め申告のうえ納付してもらうことになり、帳簿等は数年間の保管が必要になる。罰則規定も設けることになる。
⑬	・ 宿泊税を導入する際は、免税点を設定してもらいたい。素泊まり料金は4千円のため、5,000円なら課税免除となる。	（ご意見として伺いました）
⑭	・ 「宿泊税が導入されるなら、宿をやめようかな」というのを聞いて非常に悲しくなった。宿泊料金が低く、高齢者がやられているところに配慮し、免税点は設定した方がよい。でないと、やめるところだらけになる。子どもの体験を伴う宿泊やビジネス利用も課税免除すべき。	・ 課税対象となるのは、「宿泊施設での宿泊行為」であるため、観光目的であっても、ビジネス目的であっても宿泊することには変わりはないので、課税の対象となるもの。
⑮	・ 現状、民泊の実績報告だけでも多い中で負担が増える。 ・ 宿泊税を導入するとすると、申告納付に負担を感じる。 ・ 免税点の設定については、導入ありきの話には答えられない ※6,000円くらいの宿泊料に対する宿泊税の負担感はあるとも発言	（ご意見として伺いました）
⑯	・ 自分の施設の運営状況からは免税点の設定はあまり関係ない。うちの施設は一定の額の宿泊料になっており、設定の有無は決められたことに従う。（どちらでもよい） ・ 自社の福利厚生や接待利用などでの使用もあるが宿泊税の対象になるのか。	・ 宿泊契約（宿泊料）が発生しなければ対象にはならない。
⑰	・ 断固反対ではあるが、導入するのであれば10,000円を課税免除のラインにしていきたい。 ・ 宿泊税を導入すれば止めることはできない。京都市みたいにどんどん値上げになる。	（ご意見として伺いました）
⑱	・ なぜ200円なのか。 ・ 免税点は決まっているのか。 ・ 入湯税でも申告・納付が手間である。集計が大変で、ほぼアナログでやっている。 ・ 入湯税は現地で支払ってもらっているが、宿泊税も同じことになると思われる。運営している京都市内の施設では宿泊税200円を徴収している。 ・ 宿泊税を実施するなら定額でお願いしたい。ややこしくないシンプルなものにしてほしい。 ・ 入湯税ではレジで入湯税をタッチするが、宿泊税についても改修が必要と思われる。レジの補助はあるのか。 ・ システム改修の内容によるので、特別徴収交付金の上乗せと補助金ではどちらがよいかは分からない。 ・ 何のために導入するのか、何に使っているのかを明確にしたリーフレットで見える化してほしい。	・ 確保すべき財源規模と宿泊税を先行導入している観光地を参考に200円とした。 ・ 決まっていない。委員会でも意見が分かれている。 ・ 他市の事例では限度額50万円の1／2補助がある。特別徴収交付金の上乗せ、または補助金の導入を検討している。 ・ 承知した。

宿泊税事業者個別訪問 主な意見 (項目別)

事業者名	意見等	市回答
⑰	・免税点の話があったが、宿泊料金が低いから宿泊税をとらないのはどうか。宿泊料金3,000円でも享受する観光コンテンツは同じである。宿泊税は宿泊する行為への税金である。(免税点なしのご意見) ・宿泊税を徴収するのに手間がかかると聞く。外国のサイトを使用しており、宿泊税等の内訳を表示する欄がそもそもない。システム改修は必要ないと思うが、実際にどのように徴収しているか教えてほしい。非接触型の宿泊施設もどう徴収しているのか。	・他市の事例を参考に研究する。
⑳	・比較的裕福な外国人来訪者から負担してもらい、日本人からは徴収しないようにすればよい。商売人などは外国人を割高にしている。 ・宿泊税に賛成の立場でないが、宿泊税を導入するとすれば、免税点の設定は行うべき。	・税については公平性の観点からそうした扱いはできない。
㉑	・低価格帯(2万円未満)の宿泊については免税とするなど、一律徴収を避けるべき。 ・宿泊料金によって100円、200円と段階的にすべき。 ・宿泊税の申告・支払いについて電子化すること(エクセル等のデータ送信によるオンライン完結、インターネットバンキングなど、事業者の手間を減らす仕組みが不可欠) ・すでに負担している「入湯税」に加え「宿泊税」を課すのは、低価格帯の宿や小規模事業者にとって死活問題である。 ・料理、掃除、経理を一人でこなす小規模宿には、これ以上の集計作業や手書き書類の作成、役所への持参納付に対応する余裕は1分もない。	(ご意見として伺いました)
㉒	・観光振興の必要性は理解しつつも、教育施設が一般の観光ホテルと同じ枠組みで扱われることに疑問を持つことから、一定の配慮をお願いしたい。 ・当該施設は簡易宿所であり、小学生1泊800円といった価格設定を行っているが、一律200円の課税は負担感が大きい(宿泊料の25%に相当)。 ※非課税世帯の子供は1泊半額としているため、小学生1泊400円となり、更に割合が高くなる。 ・免税点を設定するなど、低価格帯の利用者や施設を保護する仕組みを設けてほしい。 ・本施設の目的から観光客の宿泊とは性質が異なることから、学校関係による利用を課税免除の対象として検討してほしい。野外学習や宿泊体験など、学校教育の一環で利用する子供たちにまで一律に課税するのは無理があるのではないか。 ・宿泊税を導入していない他施設に客が流れてしまう懸念がある。 ・生活保護受給世帯や施設入所中の子供に対し、施設側が独自に半額減免などを行っているケースがあり、そこにも一律課税されるのか。 ・市内の学校の保護者行事などで利用する場合、宮津市民が宮津市に宿泊税を払うことになり、納得感が得にくい。 ・「翌月納付」というルールになった場合、後納(クレジットカード決済やエージェン特経由の入金が2か月程度遅れる場合がある)がほとんどなので、翌月納付は困難 ・「添い寝の幼児」は宿泊料金の規定はなく、シーツ代(120円程度)のみを徴収しているが、課税対象とするのか。	・宿泊行為への課税であるためかかってくる。免税点の設定や課税免除により課税しないことはありえる。 ・宿泊税を導入することとなった場合、そのあたりを整理する。 ・宿泊契約はないので対象とならないと考えるが、宿泊税を導入することとなった場合、そのあたりを整理する。

事業者名	意見等	市回答
②③	・民泊やゲストハウスはセルフチェックインや事前決済が主流の中、現地で200円を別途徴収するのはオペレーション負荷が高く、キャッシュレス派の顧客への対応も難しい。宿泊料に上乗せして徴収することになると思われる。	・こちらから徴収方法は指定しないので、事業者の実情に合わせて徴収をお世話になりたい。
②④	・入湯税と税額や年齢基準を合わせるなど、説明しやすい制度設計をしてほしい。また、宿泊客への宿泊税の説明を、現場に丸投げしないでほしい。 ・入湯税は「子供（中学生以下）はかからない」のが一般的。宿泊税が「0歳から一律」となると、入湯税はかからないのに宿泊税のみかかるということになるため、現場での説明が非常に難しくなる。年齢基準を合わせるなど、説明しやすい制度にしてほしい。 ・仮に「一律200円」とするなら、入湯税に合わせて「大人からのみ」とする方が、お客様の納得感を得やすい。 ・1泊いくら未満を免税にする案もあるが、計算が複雑になるくらいなら、いっそ一律の方が事務的には楽。ただし、低価格帯の施設にとっては200円の重みが違うため、慎重な検討が必要と考える。 ・チェックアウト時のトラブルを避けるための「旅前（予約時）」にお客様が理解できるような対策をしてほしい。例えば、予約サイト（OTA）への働きかけ、楽天やじゃらん等のサイト上で、予約時に必ず「別途宿泊税がかかる」ことが明示されるよう、行政からプラットフォーム側へ働きかけてほしい。 ・HPに掲載できるような宿泊税の使い道を明示したバナー等を配布してほしい。 ・周知については、ポスターより実用的なものが望ましい。宿の雰囲気を壊すポスターより、ウェットティッシュなどの実用的な説明書きのノベルティがあれば望ましい。 ・毎月役所へ持参するのは負担。キャッシュレス決済手数料の負担もあるため、事務手数料（交付金）の還元や、電子申告・振込対応ができるようにしてほしい。 ・罰則規定は設けるべきである。	（ご意見として伺いました）
②⑤	・宿泊料金によって税額が変わる仕組みは、宿を一人で切り盛りしている現状から、計算が煩雑になるため、「一律定額制」が良い。 ・免税点については設けない方が良い。例えば、5,000円でラインを引いたら、今の時期（オフシーズン）は下回るけど、特定の時期（ハイシーズン）は上回る、という様にシーズンで変動することになりややこしいと感じるため、金額で境界線を引くことで、かえって管理を難しくさせる。 ・徴収方法について、1人で宿を切り盛りしており、税金を納めるために市役所まで伺わなければ行けないのは負担感がある。現金、カード、電子決済など支払い方法が多様化する中で、できるだけ負担を少なくできるような納付手法を検討してほしい。 ・お客様に口頭で説明するのは大変なため、QRコードで詳細が見られるリーフレットやバナーなど、「これを見てください」と言えるツールの提供を求める。	（ご意見として伺いました）

宿泊税事業者個別訪問 主な意見 （項目別）

事業者名	意見等	市回答
②⑥	・免税点は設定せず、一律で徴収する方が望ましい。皆さんから平等にいただいた方がいい。	（ご意見として伺いました）
②⑦	・小学生料金1,870円など安価な料金設定であり、仮に200円/人になると負担感が大きいことから、慎重に制度設計を行うべき。小中学校の団体（京丹波町や市内等）は価格重視で施設を選定するため、この上げ幅は「客離れ」に直結する懸念がある。 ・免税点は設定せず、一律で徴収する方が望ましいとは考えるが、当該事業所の様に低価格の施設については影響が大きいため、慎重に検討してほしい。 ・課税免除についても、対象か対象でないか判別が難しく、現場でのオペレーションは非常に難しくなると思う。	（ご意見として伺いました）
②⑧	・免税点については設定なしが望ましいという意見であった。	（ご意見として伺いました）
②⑨	・免税点については設定なしが望ましい。 ・税額は安いにこしたことはないが、定額200円で良い。 （500円等では高いと感じるが、200円なら影響が生じる金額ではないと考える） ・宿泊料金の受領はすべてキャッシュレス（省人化）であるため、宿泊税の納入もキャッシュレスを希望。 ・導入の場合、不慣れな方もおられると思うため、随時市により納税説明会を開催する、人を派遣してマンツーマンで指導するくらいしないと、高齢者等は難しいと感じる。	（ご意見として伺いました）
③⑩	・宿泊料金についてはオンラインで事前決済されており、お帰りの際に入湯税150円を徴収している。宿泊税200円が導入されると、350円お支払いいただくことになる。宿泊税を150円とし、入湯税と合わせて300円にしてほしい。2人で500円を超えてくると抵抗感があるので、2人で700円より2人で600円がありがたい。 ・免税点はA案B案どちらになっても当施設は変わらない。他の施設からは負担が大きいため免税点を設ける方がよいと聞く。 ・課税免除については、皆からとるのがよい。（設けないとの回答）税収を逃すのが勿体ない。	（ご意見として伺いました）
③⑪	・免税点・課税免除については設定せず、一律に宿泊税をもらう方がよい。もらえるものはもらう。楽しんでもらえることに使ってほしい。何に使っているか明確化してほしい。	（ご意見として伺いました）
③⑫	・免税点、課税免除はそれぞれ設定なしで良い。 ・なるべく手間がかからない方法（お客への説明も含め）を検討してほしい。	（ご意見として伺いました）

事業者名	意見等	市回答
4. 検討の進め方について		
⑦	お互いにいい方向で進めていければ。これまでの宮津市の例によらないで。早急には進めないで。	(ご意見として伺いました)
⑨	・宿泊税の導入については、議論もなしにすんなり行うより、むしろ、反対の声があったほうが、丁寧な説明や議論を行ったという過程があることになり、そのほうが意義深く、よかったと考える。	(ご意見として伺いました)
⑩	・旅館組合と観光協会の市への要望は、市からお願いして行ったものか。 ・一部の役員が決めて、末端の会員には一切説明もない。組織で議論されたものとは思えない。宿泊税の導入については、全くの反対ではないが、進め方が悪いと思う。我々組合の中でも、説明すら聞いていないのに、組織に属さないところからするとなおさらである。 ・大きな施設の声を聞くばかりでなく、小さな施設にも目を向けていくことが重要。でないとどんどん廃業していく。 ・引き続き、丁寧な進め方を求める。	・市から依頼したことは一切ない。(団体で決めて行ったこと) ・宿泊事業者には丁寧に説明をするよう、委員会でも意見があった。仕切り直して、宿泊事業者に個別に丁寧に説明し、ご意見も聞いたうえで、検討会で議論いただくことになる。 ・承知した。
⑭	・今後の流れは。	・事業者個別訪問でいただいた意見をとりまとめ、検討委員会に報告し、議論を再開する。その後、委員会でとりまとめ、提言を市に提出してもらい、市で案を決定する。宿泊税導入とした場合は、議会へ提案する。その後、総務大臣の同意を得て、周知した後、導入という流れ。事業者説明会も検討委員会の提言後に行う予定。
⑮	・宿泊税導入ありきで進めるのでなく、みんなが納得してから導入を決定し、それからルール作りを行うべきである。もっと観光の現状把握を行ってから、ものごとを進めるべきである。	(ご意見として伺いました)
⑰	・今回の事業者への個別説明について、丁寧な対応をしてもらったとの評価も聞くが私としてはまだまだと思う。 ・手紙(アンケート)にて、個別説明の可否を問われていたが、手紙という手法と期限をきったやり方に不満。 ・市役所から個別の電話連絡を行い、直接個別説明の可否を伺うべきである。小規模施設は市役所に電話等なんてできない。	(ご意見として伺いました)
⑲	・どういうプロセスで進むのか。	・個別訪問で頂戴した意見を検討委員会に報告し検討委員会で議論。議論の結果を検討委員会から市に報告を受け、市としての方針を決定